

医療福祉の地域創造会議 通信 第139号

第133回ワーキンググループ会議 (R7.7.13)

寄り道したくなる診療所“くわくわ”

話題提供者：一般社団法人くわくわ企画

理事 久保 有美さん、代表 徳田 嘉仁さん

7月のワーキンググループ会議は、一般社団法人くわくわ企画理事の久保有美さんと代表理事の徳田 嘉仁さんに話題提供していただきました。

寄り道したくなるような診療所を目指す、さまざまな取り組みについてお話しいただきました。参加者からの質問への回答で、徳田先生が、今後のターゲットとしては、「心理的、社会的、身体的、どこかで近いってところの人たちをターゲットにしていけたらいいな」という風に思っています。」という言葉があり、どこかで近いかたが、なにをするではなく寄り道できるような居場所が作りが大切であることへの気付きとなる機会でした。

参加者の声

徳田先生のお話に触発されて、地域の実践でもやっていきたい。建物の外にふらっと寄れる場所があるのがいいな。建物、コンセプトに感銘を受けました。随所色々工夫されていて、廃材利用や、いらなくなった図書の利用、使うだけではなくそこから生と死を考えるとところが深い。実現するために色々な人と繋がりを持ってもらえるんだろう。先生の取り組み、医療を真ん中に持ってきてないことが、みんなが集まりやすい形になっていってるのかな。

子供の居場所にもなれるんじゃないか。近くに中学校があるので、ここが若い人の居場所になって、学校だけではなかなか見えてこない課題というのが見えてくる。

ここからどんどん発展していくのが楽しみ。今後また訪れたいと思えるような場所。

寄り道したくなる診療所“くわくわ”

「生について真剣に考える遊び場」をつくることを目的として、「生」の方に重きをおく町の診療所として開設。

「診療所」でもあり、「住まい」でもあり「遊び場」でもある場所で、ゆるやかに混じりあって存在し、何しに行く場所という決まりはなく、「カフェ」でランチも、学校帰りに中学生が駄菓子屋による、なんのためにきて、何もしなくてもいてもいい、どんな人でも「ただ居る」ことのできる場づくりという目標に向かって様々な取り組みをしている。

主な取り組みとしては、「くわくわラジオ体操クラブ」や「サン・ジョルディの日（本とバラを贈りあう）」や「本の貸し出し」や「診療所でのライブ」等を行っている。

ライブに参加された、地域の高齢の方からは、ライブを通じて若い人と話したり、また、ライブの音楽を聴くことで、自分の孫がなんとなく言っていることが分かったという感想もあり、いろいろな人に何かを感じてもらおう場作りにもなっている。



総会・研修会

日時：令和7年8月24日(日)14:00~17:00 (受付 13:30~)

場所：ピアザ淡海 大会議室 (大津市におの浜一丁目1-20)

*ハイブリット開催

14:00~総会

14:20~講演1

《テーマ》「看取りについて~2025年問題を迎えて」

講師：フリーランスライター 早川 さくら 氏

15:50~講演2

《テーマ》「滋賀県「死生懇話会」を通じての出会い」

講師：滋賀県総合企画部 企画調整課 企画第二係

参事兼係長 森 陽子氏

医療福祉の地域創造会議運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL:077-528-3529

FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp